



QPS 8.5 ReadMe

目次

QPS 8.5 ReadMe	5
QPSコンポーネント	6
このバージョンで更新されたコンポーネント.....	6
互換性マトリクス.....	6
サーバーコンポーネント.....	7
その他のオプションのコンポーネント.....	8
クライアントコンポーネント.....	8
必要システム構成	9
QPS Server : Mac OS	9
ハードウェア.....	9
ソフトウェア.....	9
サポート対象のプラットフォーム*.....	10
QPS Server : Windows	10
ハードウェア.....	10
ソフトウェア.....	10
サポート対象のプラットフォーム*.....	10
QPS Database*	11
QPS File Server : Mac OS	11
ハードウェアオプション.....	11
ソフトウェア.....	11
サポート対象のプラットフォーム*.....	11
QPS File Server : Windows	12
ハードウェア.....	12
ソフトウェア.....	12
サポート対象のプラットフォーム*.....	12
QPS File Server : Solaris	12
ハードウェア.....	12
ソフトウェア.....	13
QPS Connect Client : Mac OS	13
ハードウェア.....	13
ソフトウェア.....	13
サポート対象のプラットフォーム*.....	13
QPS Connect Client : Windows	13
ハードウェア.....	13
ソフトウェア.....	13
サポート対象のプラットフォーム*.....	13
QPS Web Hub	14

推奨ハードウェア構成	15
小規模のQPSトラフィック.....	15
中規模のQPSトラフィック（オプション1）.....	16
中規模のQPSトラフィック（オプション2）.....	16
大規模のQPSトラフィック.....	17
QPSソフトウェアのインストール	19
QuarkXPress Serverのインストール.....	19
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール	
.....	19
Mac OS.....	20
Windows.....	20
QPS Databaseのインストール	20
QPS Databaseのインストール — HSQL DB.....	20
WindowsでのQPS Databaseのインストール — MS SQL Server.....	20
WindowsでのQPS Databaseのインストール — Oracle.....	21
Linux上のOracleのQPSスキーマの設定.....	22
QPS Serverのインストール	23
Mac OS.....	23
Windows.....	24
QPS Script Manager.....	26
QPS Connect Clientのインストール	26
Mac OS.....	26
Windows.....	26
QPS XTensionsソフトウェアの手動でのインストール	27
Mac OS.....	27
Windows.....	29
インストール後に変更を行うには	31
QuarkXPress Server Managerへのアクセスの保証.....	31
QuarkXPress Serverロケールの識別.....	31
QuarkXPress Serverの更新.....	31
QPS Connect Clientのインストール内容の更新: Windows.....	32
QPS ServerへのRAMの割り当て.....	32
QPSソフトウェアの更新	34
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアの更新.....	34
QPS Serverの更新（Mac OS）.....	34
QPS Serverの更新（Windows）.....	35
QPS Databaseの更新	36
Windows：MS SQL ServerまたはOracle.....	36
Linux：Oracle.....	36
QuarkXPressのアップデート（Mac OS）	36
QuarkXPressのアップデート（Windows）	37
QuarkCopyDeskのアップデート（Mac OS）	37
QuarkCopyDeskのアップデート（Windows）	37
QPS Clientの更新（Mac OS）	38

QPS Clientの更新 (Windows)	38
QPS 8.5への移行.....	39
HSQLの移行.....	39
MS SQLの移行.....	40
Windows版Oracleの移行.....	40
Linux版Oracleの移行.....	40
QPS Serverの起動.....	41
Mac OS.....	41
Windows.....	41
QuarkXPress Serverとサブレンダラーの再起動の自動化.....	41
Mac OS.....	42
Windows.....	42
アンインストール.....	43
QPS Serverのアンインストール.....	43
Mac OS.....	43
Windows.....	43
QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール	
.....	43
Mac OS.....	43
Windows.....	45
このバージョンにおける変更点.....	46
既知および解決済みの問題.....	47
Quarkへの連絡.....	48
南北アメリカ.....	48
南北アメリカ以外の国々.....	48
オーストラリア.....	49
法律上の注記.....	50

QPS 8.5 ReadMe

Quark Publishing System® (QPS®) を導入すれば、ワークグループの出版者はアプリケーションやサーバーのネットワークシステムを介してファイルやタスクを統合できるようになります。本書には、ハードウェア要件およびソフトウェア要件の評価、環境の準備、およびQPSのインストールに関する重要な情報が含まれています。

QPSを初めてインストールする場合は、以下の順序で各コンポーネントをインストールする必要があります。

このバージョンに更新する場合は、最初にQPS 8.1以降のバージョンをインストールするかそのバージョンに更新してから、以下の順序で各コンポーネントを更新します。

手順	ノート
QPS Server 8.5をインストールするか、QPS Server 8.1以降のバージョンを8.5に更新します。	インストーラとアップデートは、 qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QuarkXPress® Server 8.5をインストールします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QuarkXPress Server 8.5用QPS XTensions®をインストールします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
新たにインストールする場合は、QPS Databaseをインストールします。 以前のバージョンのQPSから更新する場合は、QPS Databaseを更新します。	インストールの場合は「 QPS Databaseのインストール 」を参照してください。 更新の場合は「 QPS Databaseの更新 」を参照してください。
QuarkXPress 8.5をインストールするか、QuarkXPress 8.1以降のバージョンを8.5に更新します。	インストーラはアップデートとしても使用できます。 qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QuarkCopyDesk® 8.5をインストールするか、QuarkCopyDesk 8.1以降のバージョンを8.5に更新します。	インストーラはアップデートとしても使用できます。 qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QPSクライアントソフトウェア8.5をインストールするか、QPSクライアントソフトウェア8.1以降のバージョンを8.5に更新します。	インストーラとアップデートは、 qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS) Windowsの場合、インストーラはアップデートとしても使用できます。

➡ qallianceftp.quark.comにアクセスできない場合は、enterprisesupport@quark.com宛てにメールでお問い合わせください。

QPSコンポーネント

QPSには、サーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネントが含まれています。これらのコンポーネントは、下記のハードウェアおよびソフトウェアの構成で正常に動作することが確認されています。

このバージョンで更新されたコンポーネント

このセクションでは、このリリースで更新されているコンポーネントを示します。このリストに含まれていないコンポーネントは、このリリースでは更新されていません。

- ・ QPS Server
- ・ QuarkCopyDesk
- ・ QuarkXPress
- ・ QuarkXPress Server
- ・ QuarkXPress Server用QPS XTensions
- ・ QuarkXPress用QPS XTensions
- ・ QuarkCopyDesk用QPS XTensions
- ・ QPS Connect Client
- ・ QPS Server XDK
- ・ QPS Client XDK
- ・ QPS XTensions XDK
- ・ InDesign® CS4およびInCopy® CS4用QPS Connect
- ・ SharePoint® 2010用QPS Adapter
- ・ Automation Services

互換性マトリクス

以下の表は、QPS 8.1、QPS 8.1.3.0、QPS 8.1.4.0、QPS 8.1.6.0、QPS 8.5と互換性があるQuarkソフトウェアのバージョンを示しています。I=インストーラあり、U=アップデートあり。

QPSソリューション	バージョン 8.1	バージョン 8.1.3.0	バージョン 8.1.4.0	バージョン 8.1.6.0	バージョン 8.5
QuarkXPress	8.1	8.1.2	8.1.2	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェア	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QuarkCopyDesk	8.1	8.1.3	8.1.4	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェア	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QuarkXPress Server	8.1	8.1.2	8.1.4	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェア	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QPS Connect Client	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QPS Server	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QPS Server XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QPS Client XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QuarkXPress用QPS XTensions XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)
QuarkCopyDesk用QPS XTensions XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)
Alfresco® 3.1用QPS Adapter	8.1, 8.1.0.1	8.1.0.1	8.1.0.1	8.1.0.1	—
InDesign CS4およびInCopy CS4用QPS Connect	8.1	8.1	8.1	8.1.6.0	8.5 (I/U)
SharePoint 2010用QPS Adapter	—	—	—	—	8.5 (I)
Automation Services	—	—	8.1	8.1.6.0	8.5 (I)
Altova® MapForce®	2010 r1	2010 r1	2010 r1	2010 r1	2010 r3
QPS Portal Services	—	—	8.1.4.0	8.1.6.0	—

➡ Automation Services用のアップデートはありません。更新するには、以前のバージョンをアンインストールして新しいバージョンをインストールします。ユーザーデータはすべて保持されます。

サーバーコンポーネント

- ・ QPS Serverソフトウェア
- ・ QPS File Server
- ・ QuarkXPress® Server (最小システム構成およびインストール手順については、*QuarkXPress Server ReadMe*ファイルを参照してください)
- ・ Quark® License Administrator (QLA) 4.5 (Quarkソフトウェアのライセンス管理用)

QPSコンポーネント

その他のオプションのコンポーネント

- ・ Oracle® 10.2.0.4 (Windows®またはLinux) を使用したQPSデータベース
- ・ Microsoft® SQL Server® 2005 SP2 (Service Pack 2) またはMicrosoft SQL Server 2008 SP1上で動作するQPSデータベース
- ・ QPS Script Manager (タスクの自動化)
- ・ InDesign CS4用QPS Adapter
- ・ SharePoint 2010用QPS Adapter
- ・ Automation Services

クライアントコンポーネント

- ・ QPS Connect Client
- ・ QuarkCopyDesk 8.5 (QuarkCopyDesk用QPS XTensions®ソフトウェアを含む)
- ・ QuarkXPress® 8.5 (QuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェアを含む)
- ・ QPS Web Hub

必要システム構成

下記のQPS必要システム構成は、基準となる構成ではありますが、ユーザー数、アセット数、およびアセットリビジョン数によってシステムパフォーマンスは変動します。アスタリスクが付いた要件は、これらの変動要素によって影響を受けます。これらの変動要素を考慮するためのガイダンスについては、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。RAM要件は、コンピュータ上の他のサードパーティアプリケーションを考慮していません。また、QuarkXPress Server、QuarkXPress、およびQuarkCopyDeskの要件は下記には含まれていません。これらのアプリケーションのシステム要件については、それぞれのReadMeファイルを参照してください（アプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダに保存されています）。

- ➡ 本書に記載されたオペレーティングシステムの要件には、最新のパッチおよびサービスパックが含まれています。
- ➡ QPSは、VMWare ESXi対応確認済みです。QuarkXPress Serverは、QPSの一部としてのみVMWare ESXi対応確認済みです。
- ➡ QPSは、Citrix Presentation Server 4.5およびCitrix XenApp 5.0との動作が確認されています。

QPS Server : Mac OS

ハードウェア

- ・ 合計4GBのRAM（少なくとも、RAMの合計空き容量の半分をQPS Serverに割り当てることをお勧めします）*
 - ・ 1GBのハードディスクの空き容量*
 - ・ TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）
- ➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- ・ Mac OS® 10.4.11、Mac OS 10.5.8、またはMac OS 10.6.4
- ・ Mac OS Server 10.4.11、Mac OS Server 10.5.8、またはMac OS Server 10.6.4
- ・ Java™ Development Kit (JDK™) 1.5または1.6

- ・ Quark License Administrator (QLA) 4.5 (QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります)
- ・ QuarkXPress Server (QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります。QPS Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることをお勧めします)

サポート対象のプラットフォーム*

- ・ Intelプロセッサ (推奨)
- ・ Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
- ・ G5 PowerPC®プロセッサ (サポート対象ですが、非推奨)
- ・ Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているG5 Xserve®
- ・ Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro

QPS Server : Windows

ハードウェア

- ・ 合計4GBのRAM (QPS Serverにできるだけ多くのRAMを割り当てることをお勧めします。ただし、Windows®で約1.6GBを超える割り当てを行うことはできません) *
- ・ 1GBのハードディスクの空き容量*
- ・ TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- ・ Microsoft® Windows Server 2003 (Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット)
- ・ Microsoft Windows Server 2008 (Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット)
- ・ .NET Framework 3.5 SP1
- ・ Java Development Kit (JDK) 1.6
- ・ Quark License Administrator (QLA) 4.5 (QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります)
- ・ QuarkXPress Server (QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります。QPS Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることをお勧めします)

サポート対象のプラットフォーム*

- ・ マルチコアXeon®プロセッサベースのサーバー
- ・ Intel® Core™ 2 Duo

- ・ VMware ESXi (仮想化プラットフォーム)

QPS Database*

- ・ 埋め込みモードのHSQL DB 1.8 (インストール時にHSQL DBを選択した場合、QPS Serverインストーラによってこのデータベースが埋め込みモードでインストールされません)
 - ・ Microsoft SQL Server 2005 SP2またはMicrosoft SQL Server 2008 SP1、Standard EditionまたはEnterprise Edition
 - ・ Red Hat Enterprise Linux 5、Microsoft Windows Server 2003またはMicrosoft Windows Server 2008上で動作するOracle Database 10g Release 2 (10.2.0.4)
- ➡ Microsoft SQL Serverデータベースを使用する場合、先にMicrosoft SQL Serverをインストールする必要があります。WindowsでOracleデータベースを使用する場合には、まずOracleをインストールする必要があります。次に、インストーラである"QPS Server.exe"をWindowsで実行して**QPS Databaseのインストール**をクリックし、画面の指示に従って、QPSスキーマをMicrosoft SQL ServerデータベースまたはOracleデータベースに作成します。

QPS File Server : Mac OS

ハードウェアオプション

- ・ 合計2GBのRAM*
 - ・ 5~150GBのハードディスクの空き容量 (アセット数によって異なります) *
 - ・ TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)
- ➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- ・ Mac OS X Server 10.4.11、Mac OS X Server 10.5.8、またはMac OS 10.6.4

サポート対象のプラットフォーム*

- ・ Intelプロセッサ (推奨)
 - ・ Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
 - ・ G5 PowerPC®プロセッサ (サポート対象ですが、非推奨)
 - ・ Mac OS X Serverソフトウェアを実行するG5 Xserve® (サポート対象ですが、非推奨)
 - ・ Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro
- ➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。QPS

ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

QPS File Server : Windows

ハードウェア

- ・ 合計2GBのRAM*
- ・ 5～150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）*
- ・ TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- ・ Microsoft Windows Server 2003（Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット）
- ・ Microsoft Windows Server 2008（Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット）

サポート対象のプラットフォーム*

- ・ Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Edition（推奨）が稼動しているIntel vPro™テクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
- ・ Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Editionが稼動しているシングルプロセッサのIntel® Pentium® 4/Pentium D/デュアルプロセッサのXeon

➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。QPS ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

QPS File Server : Solaris

ハードウェア

- ・ SPARC™ベースまたはx64/x86ベースのシステム
- ・ 合計2GBのRAM
- ・ 5～150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）*

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- ・ Sun™ Solaris™ 8以降

QPS Connect Client : Mac OS

ハードウェア

- ・ 合計1GBのRAM*
- ・ プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量
- ・ TCP/IPネットワーク

ソフトウェア

- ・ Mac OS X 10.5.8またはMac OS X 10.6.4

サポート対象のプラットフォーム*

- ・ Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のiMac
- ・ Mac OS Xクライアントソフトウェアが稼働しているIntel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMacBookまたはMacBook Pro
- ・ Mac OS Xクライアントソフトウェアを実行するMac Pro
- ・ Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMac mini

QPS Connect Client : Windows

ハードウェア

- ・ 合計1GBのRAM*
- ・ プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量

ソフトウェア

- ・ Microsoft Windows XP Professional Edition、またはWindows 7 BusinessまたはUltimate
- ・ .NET Framework 3.5 SP1

サポート対象のプラットフォーム*

- ・ Windows XP Professional Editionが稼働しているIntel Core 2 DuoプロセッサまたはWindows 7 Professional Edition
- ・ Windows XP Professional Editionが稼働しているIntel XeonプロセッサまたはWindows 7 Professional Edition

必要システム構成

- ・ Windows Vista (Business EditionまたはUltimate Edition)が稼動しているIntel vProテクノロジーおよびIntel Core 2 DuoまたはWindows 7 (Business EditionまたはUltimate Edition)が稼動しているIntel vProテクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
- ・ Windows XP Professional Editionが稼動しているIntel Pentium 4プロセッサまたはWindows 7 Professional Edition

QPS Web Hub

- ・ Mozilla Firefox 3.6.x (Mac OSまたはWindows) 、 Microsoft Internet Explorer 7.x (Windows) 、 Microsoft Internet Explorer 8.x (Windows) 、 Safari 5.x (Mac OS) 、 Google Chrome 6.x (Mac OSおよびWindows)

➡ * 詳細は、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。

推奨ハードウェア構成

以下の要因を考慮して、組織に必要なハードウェアを特定してください。変動要素には、ユーザー数、アセットの数、アセットの種類（サイズの小さいテキストファイル、サイズの大きい画像ファイルなど）、アセットのリビジョン数があります。アセットを検索するとき、QPS Serverのパフォーマンスはマスターファイルの数（各アセットの現在のバージョン）に左右されます。リビジョンの数はQPS Serverのパフォーマンスに影響しませんが、リビジョン番号の変動要素はQPS File Serverに必要なディスク容量に影響します。また、複数のユーザーからの検索処理数を増やしても、QPS Serverのパフォーマンスに影響することがあります。

アカウント管理者に問い合わせて、以下の推奨構成に基づいて組織のニーズを特定してください。小容量、中容量、大容量の各構成は、QPS Connect Clientウィンドウの**ユーザーアクティビティ**画面に表示されるログオンユーザー数（ユーザーセッション数）に基づいた推定です。

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

小規模のQPSトラフィック

下記の構成で、小規模のQPSワークフロー（約30ユーザーおよび5,000アセット）を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverは別のコンピュータで使用することをお勧めします。

コンピュータ1：QPS Database (HSQL)、QPS Server、QPS File Server

- ・ **RAM**：4GB（1GBはJava Virtual Machineへの割り当て）
- ・ **ハードディスク**：1GBの空き容量（アセットに必要な5~150GB以外）
- ・ **RAID**：不要
- ・ **CPU**：Dual Core Intel（推奨）
- ・ **ネットワーク**：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ2：QuarkXPress Server（2つのサブレンダラ）

推奨ハードウェア構成

- ・ **RAM** : 4GB
- ・ **ハードディスク** : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- ・ **RAID** : 不要
- ・ **CPU** : Dual Core Intel (推奨)
- ・ **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

中規模のQPSトラフィック (オプション1)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverコンピュータ用により多くのRAMを割り当てる必要があります。このオプションでは、サーバーコンピュータを2台で構成することを提案しています。

コンピュータ1 : QPS Database (HSQL) 、QPS Server、QPS File Server

- ・ **RAM** : 8GB (2GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- ・ **ハードディスク** : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- ・ **RAID** : 1+0を推奨
- ・ **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- ・ **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QuarkXPress Server (4つのサブレンダラ)

- ・ **RAM** : 8GB
- ・ **ハードディスク** : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- ・ **RAID** : 不要
- ・ **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- ・ **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

中規模のQPSトラフィック (オプション2)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS DatabaseにRedundant Array of Independent Drives (RAID) を使用することで、アセットへのアクセスパフォーマンスが向上します。このオプションでは、サーバーコンピュータを3台で構成することを提案しています。

コンピュータ1 : QPS Database (Microsoft SQL ServerまたはOracle)

- ・ **RAM** : 8GB
- ・ **ハードディスク** : 20GBの空き容量
- ・ **RAID** : RAID 1+0
- ・ **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- ・ **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2：QPS Server、QPS File Server

- ・ **RAM**：8GB（1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て）
- ・ **ハードディスク**：1GBの空き容量（アセットに必要な5～150GB以外）
- ・ **RAID**：不要
- ・ **CPU**：4 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）
- ・ **ネットワーク**：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ3：QuarkXPress Server（4つのサブレンダラ）

- ・ **RAM**：8GB
- ・ **ハードディスク**：10～20GB（ドキュメントプール用）
- ・ **RAID**：不要
- ・ **CPU**：4 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）
- ・ **ネットワーク**：ギガビットNIC（推奨）

大規模のQPSトラフィック

下記の構成で、大規模のQPSワークフロー（150ユーザーおよび60,000アセット以上）を適切に処理できます。この規模を超える要件の場合は、enterprisesupport@quark.com にお問い合わせください。

コンピュータ1：QPS Database（Microsoft SQL ServerまたはOracle）

- ・ **RAM**：8GB
- ・ **ハードディスク**：40GBの空き容量
- ・ **RAID**：RAID 1+0
- ・ **CPU**：8 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）
- ・ **ネットワーク**：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ2：QPS Server、QPS File Server

- ・ **RAM**：8GB（1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て）
- ・ **ハードディスク**：1GBの空き容量（アセットに必要な5～150GB以外）
- ・ **RAID**：不要
- ・ **CPU**：8 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）
- ・ **ネットワーク**：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ3：QuarkXPress Server（8つのサブレンダラ）

- ・ **RAM**：8GB
- ・ **ハードディスク**：10～20GB（ドキュメントプール用）
- ・ **RAID**：不要
- ・ **CPU**：8 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）

推奨ハードウェア構成

- ・ ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

QPSソフトウェアのインストール

QPSには、サーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネント用に複数のインストーラがあります。これらのインストーラは、下記の順序で実行する必要があります。下記の順序に従わないと、QPSソフトウェアのインストールをすべて完了した後でファイルを手動でコピーする必要が発生します。

- 1 QuarkXPress Serverをインストールします。
- 2 QPS Serverインストーラに含まれているQuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールします。
- 3 QPS Databaseをインストールします。
- ➡ QPSで使用するためにMicrosoft SQL Serverデータベースを設定する場合、Microsoft SQL ServerソフトウェアをインストールするときにWindows認証を使用しないでください。
- 4 QPS Serverをインストールします。
- 5 QuarkCopyDeskをインストールします。
- 6 QuarkXPressをインストールします。
- 7 QPS Connect Clientをインストールします（このインストーラによって、QuarkCopyDeskおよびQuarkXPress用のQPS XTensionsソフトウェアもインストールされます）。

QuarkXPress Serverのインストール

QuarkXPress Serverのインストールに関する詳細は、QuarkXPress Serverアプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダ内の**QuarkXPress Server ReadMe**ファイルを参照してください。**ポートとフォルダの設定**画面が表示されたら**HTTPインターフェイスを使用**をオンにして、ポート番号を入力します。QPS Serverを入力するときに必要になるため、ポート番号を記録します。また、**ファイルシステムのドキュメントプールを使用**をオンにして**参照**をクリックし、場所を指定します。

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストーラファイルをQuarkXPress Serverコンピュータで実行してください。

QPSソフトウェアのインストール

Mac OS

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にし、インストールを行ってください。
- 2 **QPS Server Installer**をダブルクリックします。
QPS Serverウィンドウが表示されます。
- 3 **QuarkXPress Server用QPS XTensions Softwareをインストールします**をクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 4 **続ける**をクリックし、ライセンス契約を読んでから、**続ける**、**同意する**、**インストール**の順にクリックします。
XTensionsソフトウェアのファイルがインストーラによってコピーされます。
- 5 **終了**をクリックして、インストールを終了します。

Windows

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックします。**Quark Publishing Systemのインストーラ**が開き、**QPS XTensions Software for QuarkXPress Serverをインストールします**、**QPS Databaseのインストール**、**QPS Serverのインストール**の3つのオプションが表示されます。
- 3 **QPS XTensions Software for QuarkXPress Serverをインストールします**をクリックし、画面の指示に従います。

QPS Databaseのインストール

QPS Databaseのインストール方法には、下記の3つのオプションがあります。HSQL DB、MS SQL Server、およびOracleです。以下の手順に従ってください。

QPS Databaseのインストール — HSQL DB

QPS Serverインストーラを実行すると、QPSはHSQL QPS Databaseを埋め込むため、このデータベースをインストールするのが最も簡単なオプションです。QPSスキーマをHSQLデータベースにインストールするために独立したデータベースインストーラを実行する必要はありません。詳細は、「[QPS Serverのインストール](#)」を参照してください。

WindowsでのQPS Databaseのインストール — MS SQL Server

Microsoft SQL ServerのQPS Databaseをインストールする前に、MS SQL ServerをWindowsにインストールして設定する必要があります。QPS Databaseは、QPS

Databaseインストーラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQPS Server Installer ("QPS Server.exe") を使ってインストールできます。MS SQL ServerのQPS Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。
Quark Publishing System Database — 設定ダイアログボックスが表示されます。
➡ "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックしてから**QPS Databaseのインストール**をクリックしても、**Quark Publishing System Database — 設定**ダイアログボックスにアクセスできます。
- 3 **次へ**をクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 **ライセンス契約書の条項に同意します**をクリックしてから**次へ**をクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 5 **データベースタイプ選択**ドロップダウンメニューから**SQL Server**を選択し、**次へ**をクリックします。
MS SQL Server情報を入力する画面が表示されます。
- 6 **ホスト/インスタンス名**フィールドに[ホスト名][インスタンス名]を入力します。インスタンス名は、デフォルトのインスタンス (**MSSQLSERVER**) を使用しない場合のみ必要です。
- 7 作成するQPS Databaseの名前を**データベースユーザー名**フィールドに入力します。インストーラによってこの名前のデータベースが作成されます。次に、同じ名前のログインが作成され、そのログインに**db_owner**ロールが付与されます。
- 8 **データベースパスワード**フィールドに、ログインのパスワードを入力します。
- 9 **データベースインストール先フォルダ**領域の**参照**をクリックして、データベースデータファイルを保存するパスを指定します。
- 10 **次へ**をクリックします。
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 11 **インストール**をクリックします。
- 12 インストールが完了したら、**完了**をクリックします。

WindowsでのQPS Databaseのインストール — Oracle

OracleのQPS Databaseをインストールする前に、Oracleをインストールして設定する必要があります。Windows上のOracleのQPS Databaseは、QPS Databaseインストーラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQPS Server Installer ("QPS Server.exe") を使ってインストールできます。

- ➡ Linux上のOracleのQPS Databaseのインストールについては、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。

OracleのQPS Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。

QPSソフトウェアのインストール

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。
Quark Publishing System Database — 設定ダイアログボックスが表示されます。
➡ "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックしてから**QPS Databaseのインストール**をクリックしても、**Quark Publishing System Database — 設定**ダイアログボックスにアクセスできます。
- 3 次へをクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約書の条項に同意します。をクリックしてから次へをクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 5 データベースタイプ選択ドロップダウンメニューから**Oracle**を選択し、次へをクリックします。
Oracleデータベース情報を入力する画面が表示されます。
- 6 インスタンス名フィールドにOracleサービス名を入力します。
- 7 **SYS**パスワードフィールドにデータベースSYSユーザーのパスワードを入力します。
- 8 作成するQPSスキーマの名前を**スキーマ名**フィールドに入力します。
- 9 **スキーマパスワード**フィールドにQPSスキーマのパスワードを入力します。
- 10 データファイル、索引ファイル、およびLOBファイルを保存するパスを、**保存先フォルダ**領域から選択します。
- 11 次へをクリックします。
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 12 **インストール**をクリックします。
- 13 インストールが完了したら、**完了**をクリックします。

Linux上のOracleのQPSスキーマの設定

QPSスキーマを設定する前に、Oracleがコンピュータにインストール済みで、QPSスキーマを設定するデータベースがあることを確認してください。QPSパッケージに含まれている、QPSスキーマをOracle用に作成するスクリプトでは、データベースは作成されません。

- 1 "Oracle"フォルダ内の"Create"フォルダを開きます。
- 2 QPSスキーマを作成するには、"CreateAndSetup.sh" (Mac OS/Linux) または"CreateAndSetup.bat" (Windows) を、以下の引数を指定して実行します。
 - ・ **SysPwd** : データベースのSYSユーザーのパスワード
 - ・ **QPPUser** : 作成するQPSスキーマ名
 - ・ **QPPPwd** : QPSスキーマのパスワード
 - ・ **ServiceName** : Oracleサービス名

- ・ **DataDest** : データファイルが作成されるパス
- ・ **IdxDest** : 索引ファイルが作成されるパス
- ・ **LobDest** : lobファイルが作成されるパス

3 スクリプトは、下記の操作を行います。

- ・ テーブルスペースの作成
- ・ スキーマ/ユーザーの作成
- ・ テーブルの作成
- ・ 索引の作成
- ・ プロシージャの作成
- ・ 設定データの初期化
- ・ ユーザーデータの初期化
- ・ 外部キーの作成
- ・ Quartzスキーマの作成

4 上記のそれぞれのタスク用に提供される個々のスクリプトを使うことができますが、"CreateAndSetup.sh"または"CreateAndSetup.bat"を実行してプロンプトに従って情報を入力することをお勧めします。

QPS Serverのインストール

Mac OS

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。

- 2 **QPS Server Installer**をダブルクリックします。
QPS Serverウィンドウが表示されます。
- 3 **QPS Serverのインストール**をクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 4 **続ける**をクリックし、ライセンス契約を読んでから、**次へ**、そして**同意する**をクリックします。
ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力し、**次へ**をクリックします。
ライセンスサーバーの情報画面にシリアル番号とインストール日が表示されます。
- 6 Quark License Administrator (QLA) コンピュータのIPアドレスまたはホスト名を**ホスト名またはIPアドレス**フィールドに入力します。
- 7 **ポート**フィールドにポート番号を入力します。

- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、IPアドレスまたはホスト名およびポート番号を**バックアップのホスト名またはIPアドレス**および**ポート**フィールドに入力します。
- 9 **次へ**をクリックします。

データベース情報画面が表示されます。
- 10 手順5で入力したバリデーションコードは、**データベース選択**コントロールにグレーで表示される選択したデータベースに対応しています。その他のオプションは、選択によりさまざまです。
 - ・ HSQLデータベースとスキーマの埋め込みを選択すると、**デフォルト（埋め込みモードではHSQL DB）** がグレーで表示されます。
 - ・ すでにインストールしたMicrosoft SQL Serverデータベースの使用を選択すると、**SQL Server**がグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、ポート、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール — MS SQL Server](#)」を参照してください。
 - ・ Oracleデータベースの使用を選択すると、**Oracle**がグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。
- 11 QPS Serverをサービスとして実行するには、**Quark Publishing システム(サーバー)をサービスとしてインストール**をオンにします。**次へ**をクリックしてインストールを続行します。

QuarkXPress Server情報画面が表示されます。
- 12 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、**次へ**をクリックします。

インストール先の選択画面が表示されます。
- 13 QPS Serverの場所を選択し、**続ける**をクリックしてから**インストール**をクリックします。

インストール後にQPS Server Consoleが起動します。
- 14 **QPS Serverを起動**をクリックしてサーバーを起動できます。

Windows

QPS Serverアプリケーションのインストールは下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- ➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。バリデーションコードは選択するデータベースに関連付けられています（埋め込みHSQLデータベース、Microsoft SQL Server、Oracle）。
- 2 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックします。次の3つのオプションを持つ**Quark Publishing Systemのインストーラ**画面が表示されます。**QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール**、**QPS Databaseのインストール**、そして**QPS Serverのインストール**。

- 3 QPS Serverのインストールをクリックして、次へをクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約書の条項に同意しますをクリックし、次へをクリックします。
ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力し、次へをクリックします。
ライセンスサーバーの情報画面にシリアル番号とインストール日が表示されます。
- 6 Quark License Administrator (QLA) コンピュータのIPアドレスまたはホスト名をホスト名またはIPアドレスフィールドに入力します。
- 7 ポートフィールドにポート番号を入力します。
- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、ホスト名またはIPアドレスおよびポート番号をバックアップのホスト名またはIPアドレスおよびポートフィールドに入力します。
- 9 次へをクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 10 手順5で入力したバリデーションコードは、データベース選択コントロールにグレーで表示される選択したデータベースに対応しています。その他のオプションは、選択によりさまざまです。
 - ・ バリデーションコードがHSQLデータベースとスキーマを指定していると、**デフォルト (埋め込みモードのHSQL DB)** がグレーで表示されます。
 - ・ すでにインストールしたMicrosoft SQL Serverデータベースの使用を選択すると、**SQL Server**がグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール — MS SQL Server](#)」を参照してください。
- ➡ このデータベースのデフォルトのポートは1433ですが、番号が違う可能性もあります。番号を調べるには、SQL Server Configuration Managerでデータベースのインスタンスを確認します。
 - ・ Oracleデータベースの使用を選択すると、**Oracle**がグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール — Oracle](#)」を参照してください。
- 11 次へをクリックします。
インストール先フォルダ画面が表示されます。
- 12 QPS Server Windowsサービスの設定には、システム選択ドロップダウンメニューのオプションを選択してください。
 - ・ ローカルシステムアカウント制御を指定するには、**ローカル**を選択します。
 - ・ ドメインユーザー制御を指定するには、**ドメイン**を選択して、ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力します。
- ➡ **ドメイン**を選択した場合は、コンピュータの管理権限を持つアカウント名を入力します。

QPSソフトウェアのインストール

13 次へをクリックします。

QuarkXPress Server情報画面が表示されます。

14 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、次へをクリックします。

アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。

15 インストールをクリックします。

インストール後にQPS Server Consoleが起動します。

16 QPS Serverを起動をクリックしてサーバーを起動できます。

QPS Script Manager

QPS Script Managerでは、スクリプトを使用してQPS Serverのタスクを自動化できます。QPS Script Managerは、"QPS Server"アプリケーションフォルダにある"ScriptManager"フォルダにインストールされます。QPS Script Managerを別のコンピュータにインストールする場合は、QPSの"ScriptManager"フォルダを対象のコンピュータにコピーします。

QPS 8.1現在で、Script Managerを使用するには、使用許諾されている必要があります。使用許諾されている場合、Script Managerはデフォルトで有効になります。

QPS Connect Clientのインストール

Mac OS

QPS Connect Clientアプリケーションをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1** ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2** "QPS Connect Client Setup.app"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

Windows

QPS Connect Clientをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1** ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2** "Setup.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってください。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

QPS XTensionsソフトウェアの手動でのインストール

QPS Connect Clientインストーラを実行する前に、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskをクライアントコンピュータにインストールしておく必要があります。QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのReadMeファイルの手順に従います。アプリケーションを起動してインストールが成功したことを確認し、アプリケーションを終了します。

QPS Connect Clientインストーラは、コンピュータ上のQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを検索し、QPS XTensionsソフトウェアを各プログラムのアプリケーションフォルダにインストールします。

➡ また、QPS Connect Clientインストーラは、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのDejavu XT XTensionsソフトウェアを無効にします。Dejavu XT XTensionsソフトウェアによって、**開く**サブメニュー（**ファイル**メニュー）に最近使用したファイルが一覧表示されますが、これによりQPS環境のパフォーマンスが低下する可能性があります。

➡ また、QPS Connect Clientインストーラは、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのDejavu XT XTensionsソフトウェアを無効にします。Dejavu XT XTensionsソフトウェアによって、**開く**サブメニュー（**ファイル**メニュー）に最近使用したファイルが一覧表示されますが、これによりQPS環境のパフォーマンスが低下する可能性があります。

QPS Connect ClientインストーラがQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskの場所を特定できない場合、XTensionsソフトウェアを"QPS Client"フォルダのルートレベルにコピーします。この場合、下記の手順を使用してQPS XTensionsソフトウェアをインストールします。

Mac OS

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアを手動でインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを終了します。
- 2 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 3 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 4 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 5 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 6 Controlキーを押しながらQuarkCopyDeskアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。

- 7 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダ内の"Frameworks"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションパッケージの"Frameworks"フォルダにそのコンテンツをコピーします。
- 8 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションパッケージに"Certificates"フォルダをコピーします。
- 9 QuarkCopyDeskアプリケーションパッケージで"info.plist"というファイルを検索して、テキストエディタで開き、下記のエントリを追加します。

```
<key>SSLCertificatesPath</key> <string>Certificates</string>
```

```
<key>AXISLogFilePath</key> <string>~/Library/Logs/Axis2ClientLog.log</string>
```

```
<key>AXISLogLevel</key> <string>0</string>
```

```
<key>SSLCertificatePath</key> <string>Certificates</string>
```

- ➡ これらのエントリは、For QuarkCopyDesk/Appフォルダの"info.plist"ファイルからコピーできます。

- 10 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"QPPPlugins"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPPPlugins"フォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに追加します。
- 11 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"QPSLog"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPSLog"フォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに追加します。
- 12 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 13 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 14 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 15 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 16 Controlキーを押しながらQuarkXPressアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 17 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"ForQuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダ内の"Frameworks"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションパッケージの"Frameworks"フォルダにそのコンテンツをコピーします。
- 18 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションパッケージに"Certificates"フォルダをコピーします。

- 19 QuarkXPressアプリケーションパッケージで"info.plist"というファイルを検索して、テキストエディタで開き、下記のエントリを追加します。

```
<key>SSLCertificatesPath</key> <string>Certificates</string>
```

```
<key>AXISLogFilePath</key> <string>-/Library/Logs/Axis2ClientLog.log</string>
```

```
<key>AXISLogLevel</key> <string>0</string>
```

```
<key>SSLCertificatePath</key> <string>Certificates</string>
```

- ➡ これらのエントリは、For QuarkXPress/Appフォルダの"info.plist"ファイルからコピーできます。

- 20 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"QPPPlugins"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPPPlugins"フォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダに追加します。

- 21 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"QPSLog"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPSLog"フォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダに追加します。

Windows

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアを手動インストールするには、以下の手順に従います。

- 1 QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを終了します。
- 2 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 3 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 4 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 5 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Symbols"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Symbols"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 6 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"フォルダにある残りのファイルとフォルダをすべてQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダにコピーします。
- 7 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 8 QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに"QuarkCopyDesk.exe.config"という名前のファイルがあるかどうか確認します。

- ・ ファイルが存在しない場合は、"For QuarkCopyDesk"フォルダから"QuarkCopyDesk.exe.config"ファイルをアプリケーションフォルダにコピーします。
 - ・ ファイルが存在する場合は、（QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの）"QuarkCopyDesk.exe.config"ファイルと（"For QuarkCopyDesk"フォルダの）"QuarkCopyDesk.exe.config"ファイルを、テキストエディタで開きます。
 - ・ アプリケーションフォルダ側のファイルに<system.web>、<system.net>、および<appSettings>の各要素が含まれている場合、"For QuarkCopyDesk"側のファイルから、同じ名前の要素の内容を各要素に追加します。
 - ・ アプリケーションフォルダ側のファイルにこれらの要素がない場合は、"For QuarkCopyDesk"フォルダ側のファイルから各要素をコピーして、そのファイルの<Configuration>要素にペーストします。
- 9** "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 10** "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 11** "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 12** "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Symbols"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Symbols"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 13** "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"フォルダにある残りのファイルとフォルダをすべてQuarkXPressアプリケーションフォルダにコピーします。
- 14** Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 15** QuarkXPressアプリケーションフォルダに"QuarkXPress.exe.config"という名前のファイルがあるかどうか確認します。
- ・ ファイルが存在しない場合は、"For QuarkXPress"フォルダから"QuarkXPress.exe.config"ファイルをアプリケーションフォルダにコピーします。
 - ・ ファイルが存在する場合は、（QuarkXPressアプリケーションフォルダの）"QuarkXPress.exe.config"ファイルと（"For QuarkXPress"フォルダの）"QuarkXPress.exe.config"ファイルを、テキストエディタで開きます。
 - ・ アプリケーションフォルダ側のファイルに<system.web>、<system.net>、および<appSettings>の各要素が含まれている場合、"For QuarkXPress"側のファイルから、同じ名前の要素の内容を各要素に追加します。
 - ・ アプリケーションフォルダ側のファイルにこれらの要素がない場合は、"For QuarkXPress"フォルダ側のファイルから各要素をコピーして、そのファイルの<Configuration>要素にペーストします。

インストール後に変更を行うには

QuarkXPress Server Managerへのアクセスの保証

QuarkXPress Server Managerクライアントをインストールできない場合、QuarkXPress Server Managerクライアントアプリケーションの"ManagerConfig.xml"ファイルを編集することで、QPS ServerがQuarkXPress Server Managerクライアントアプリケーションを使用してQuarkXPress Server Managerへのアクセスを確立できるようにする必要があります。

- 1 "ManagerConfig.xml"ファイルを開きます。

Mac OS : QuarkXPress Server Manager

Client:Contents:Resources:Java:ManagerConfig.xml

Windows : QuarkXPress Server Manager Client\ManagerConfig.xml

- 2 <servercontext>要素を探します。
- 3 <servercontext>/quark/services/qxpsmadmin</servercontext>を、<servercontext>/qxpsm/services/qxpsmadmin</servercontext>に置き換えます。
- 4 "ManagerConfig.xml"を保存しQuarkXPress Server Managerクライアントを起動します。

QuarkXPress Serverロケールの識別

日付や数字の書式などのロケール設定の一貫性を保つために、QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定がQPS Serverで認識される必要があります。

QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定によって、日付、時間、および数字の書式が決まります。

QPS ServerのQuarkXPress Serverコンピュータのロケールを設定するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを開きます。
- 2 "ServerApp.properties"をテキスト編集アプリケーションで開きます。
- 3 "qxps.locale="エントリーまでスクロールします。
- 4 QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定を入力します。英語の場合はen、フランス語の場合はfr、ドイツ語の場合はdeを入力します。
- 5 "ServerApp.properties"を保存して閉じます。

QuarkXPress Serverの更新

QuarkXPress Serverを別のコンピュータに移動する必要がある場合、QPS Serverを再インストールする必要はありません。代わりにQPS Serverアプリケーションフォルダの"conf"フォルダにある"ManagerConfig.xml"ファイルを編集します。

- 1 QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを開きます。
- 2 "ManagerConfig.xml"ファイルを開きます。
- 3 <connectioninfo>要素 (manager/hosts/host/connectioninfo) を見つけます。

- 4 <name>要素の値を新しいQuarkXPress ServerのIPアドレスに変更します。
- 5 <port>要素の値を新しいQuarkXPress Server用に指定したポート番号に変更します。
- 6 "ManagerConfig.xml"を保存してQPS Serverを起動します。
- 7 変更を確認するには、"QpsServer.log"ファイルで"Successfully registered with QXPS"という行を探します。

QPS Connect Clientのインストール内容の更新: Windows

インストール後にQPS Connect Clientソフトウェアに変更を行うには、以下の手順に従います。

- 1 "setup.exe"ファイルをダブルクリックします。 **QPS — 設定**ダイアログボックスが表示されます。
- 2 次へをクリックします。 **プログラムのメンテナンス**画面が表示されます。
 - ・ インストールするQPS Connect Clientファイルを選択するには、**設定**をクリックします。新しいファイルをインストールするか、すでにインストール済みのファイルを削除できます。
 - ・ QPS Connect Clientファイルに関連した軽微な問題を修正するには、**修復**をクリックします。このオプションは、QPS Connect Clientファイル、ショートカット、またはレジストリエントリが欠如または破損した場合に使用してください。
 - ・ QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、**削除**をクリックします。
- 3 次へをクリックします。

前のダイアログボックスで**設定**をクリックした場合は、**カスタムセットアップ**画面が表示されます。必要に応じて変更し、次へをクリックします。**プログラムを変更する準備ができました**画面が表示されます。**インストール**をクリックします。

前のダイアログボックスで**修復**をクリックした場合は、**プログラムを修復する準備ができました**画面が表示されます。**インストール**をクリックします。
- 4 プロセスが完了したことを示すメッセージが表示されたら、**完了**をクリックします。

QPS ServerへのRAMの割り当て

JVMに割り当てられるメモリの量を変更することができます。Mac OSまたはWindowsでは、空きメモリ量の50パーセント以下にすることをお勧めします。また、Windowsでは32ビットコンピュータで割り当て量を1536MB以下にしてください。

Mac OS

Mac OSでQPS Serverに割り当てられるメモリ量を調整するには、下記の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 "QPS Server"アプリケーションフォルダで"ServerStartup.command"を探し、テキスト編集アプリケーションで開きます。

- 3 「java -server -Xmx512m -classpath」を探します。「512M」は、512MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示しています。
- 4 使用可能なメモリの50パーセントまでの範囲で値を調整します。
- 5 "ServerStartup.command"を保存して閉じ、QPS Serverを再起動します。

Windows

Windowsでは、QPS Serverの起動方法に応じて、メモリ割り当てを異なる場所に指定できます。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server起動時にQPS Server ConsoleまたはQPS Server Windowsサービスを使用する場合は、"wrapper.conf"ファイルを開きます。
- 3 "wrapper.java.maxmemory"プロパティを探します。
- 4 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。
- ➡ 32ビットコンピュータでは1536を超えることはできません。QPSは64ビットコンピュータをサポートしていますが、この場合メモリは最大3072です。
- 5 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。
- 6 "Serverstartup.bat"を使用する場合は、以下の手順に従ってください。
- 7 QPS Serverを停止します。
- 8 "ServerStartup.bat"をテキスト編集アプリケーションで開きます。
- 9 "java -server -Xmx512m -classpath"を探します。「512M」は、512MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示しています。
- 10 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。
- ➡ 32ビットコンピュータでは1536を超えることはできません。QPSは64ビットコンピュータをサポートしていますが、この場合メモリは最大3072です。
- 11 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。

QPSソフトウェアの更新

QPS 8.5に更新する場合は、QPS Serverを更新する前にすべてのアセットをチェックインしてください。QPS File Serverを保持できます。各QuarkXPressプロジェクトおよびQuarkCopyDeskアークティクルは、アセットをチェックアウトしてチェックインし直したときにQPS 8.5フォーマットに変換されます。

QuarkソフトウェアをQuark License Administrator (QLA) で管理している場合は、アップグレードの前にライセンスをチェックインしてください。

QPS 8.5に更新する前に、QPS 8.1以降のバージョンをインストールする必要があります。QuarkCopyDeskおよびQuarkXPressをアップグレードする手順については、それぞれのReadMeファイルを参照してください。

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアの更新

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアを更新するには、以下の手順に従います。

- 1 Windowsで、Windowsのアンインストーラを使用して既存のQuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをアンインストールします。
- 2 Windowsでは、Windowsのアンインストーラを使用して、QuarkXPress Serverの既存のインスタンスをアンインストールします。Mac OSでは、既存のQuarkXPress Serverアプリケーションフォルダをごみ箱にドラッグします。
- 3 QuarkXPress Server 8.5をインストールします。詳細は、『**QuarkXPress Server ReadMe**』を参照してください。
- 4 「QPS Serverの更新 (Mac OS)」または「QPS Serverの更新 (Windows)」の説明に従ってQPS Serverを更新します。
- 5 QuarkXPress Server用QPS Server XTensionsソフトウェアをインストールするには、「QuarkXPress Server XTensions」フォルダのインストーラを実行します。

QPS Serverの更新 (Mac OS)

- ➡ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデートにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

QPS Serverを更新するには、下記の手順を実行します。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server ConsoleとQPS Server StatusMenuを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 **QPS Serverアップデート**をダブルクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 5 **続ける**をクリックします。
- 6 プロセスが完了したら**終了**をクリックします。
- 7 QPS Serverを起動します。

QPS Serverの更新 (Windows)

- ➡ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデートにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。
- ➡ QPS 8.1のインストール時にMicrosoft SQL ServerまたはOracleを選択した場合は、データベースを更新するためにQPS Database更新プログラムを実行する必要があります。詳細は、「[Windows : MS SQL ServerまたはOracle](#)」を参照してください。

QPS Serverを更新するには、下記の手順を実行します。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server Consoleを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックして**QPS Serverのインストール**を選択するか、QPS Serverフォルダにある"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。インストーラは自動的にQPSのインストールを検出して更新モードに切り替わります。
- 5 **次へ**をクリックします。
- 6 画面の指示に従います。
- 7 プロセスが完了したら**完了**をクリックします。
- 8 QPS Serverを起動します。

QPS Databaseの更新

以下のトピックでは、QPS Databaseを更新する方法について説明します。

- ➡ QPS Databaseは、Windows上で動作するMS SQL Server、Windows上またはLinux上で動作するOracleを使用する場合のみ更新する必要があります。HSQL QPS Databaseは、QPS Serverのアップデートを実行すると更新されます。

Windows : MS SQL ServerまたはOracle

Windows上で動作するMS SQL ServerまたはOracleをQPSデータベースとして使用している場合は、下記の手動での手順を実行します。

- 1 QPS Serverをシャットダウンします。
- 2 データベースをインストールしたコンピュータ上で、**Updater/QPS Server/Database**ディレクトリに移動します。
- 3 "Update.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

Linux : Oracle

Linux上で動作するOracleをQPSデータベースとして使用している場合にQPSデータベースを更新するには、下記の手動での手順を実行します。

- 1 QPS Serverをシャットダウンします。
- 2 **Updater/QPS Server/Database/Oracle**ディレクトリに移動します。
- 3 "Update"フォルダを、Oracleをインストールしたコンピュータのローカルのハードドライブにコピーします。このフォルダにはデータベース更新スクリプトが含まれます。
- 4 コマンドプロンプトを表示して、ローカルのハードドライブの"Update"フォルダに移動します。
- 5 "Update.sh"スクリプトを実行するには、**sh Update.sh**と入力して以下の引数を指定します。
 - ・ **SysPwd** : データベースのSYSユーザーのパスワード
 - ・ **QPPUser** : QPSスキーマの名前
 - ・ **QPPPwd** : QPSスキーマのパスワード
 - ・ **ServiceName** : Oracleサービス名

QuarkXPressのアップデート (Mac OS)

QuarkXPress にアップデートするには、下記の手順を実行します。

- 1 QuarkXPressが実行されていないことを確認します。
- 2 アップデート中に問題が発生した場合にソフトウェアの正常に機能するコピーがあるように、ハードディスク上にQuarkXPressアプリケーションフォルダのコピーを作成します。

- 3 QuarkXPressアプリケーションフォルダとアプリケーションの名前がインストール時のものから変更されていないことを確認してください。
- 4 QuarkXPressインストーラファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QuarkXPressのアップデート (Windows)

QuarkXPress にアップデートするには、下記の手順を実行します。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 QuarkXPressが実行されていないことを確認します。
- 3 アップデート中に問題が発生した場合にソフトウェアの正常に機能するコピーがあるように、ハードディスク上にQuarkXPressアプリケーションフォルダのコピーを作成します。
- 4 QuarkXPressアプリケーションフォルダとアプリケーションの名前がインストール時のものから変更されていないことを確認してください。
- 5 QuarkXPressインストーラファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QuarkCopyDeskのアップデート (Mac OS)

QuarkCopyDesk にアップデートするには、下記の手順を実行します。

- 1 QuarkCopyDeskが実行されていないことを確認します。
- 2 アップデート中に問題が発生した場合にソフトウェアの正常に機能するコピーがあるように、ハードディスク上にQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダのコピーを作成します。
- 3 QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダとアプリケーションの名前がインストール時のものから変更されていないことを確認してください。
- 4 QuarkCopyDeskインストーラファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QuarkCopyDeskのアップデート (Windows)

QuarkCopyDesk にアップデートするには、下記の手順を実行します。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラでウィルスチェックを実行してからウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 QuarkCopyDeskが実行されていないことを確認します。

QPSソフトウェアの更新

- 3 アップデート中に問題が発生した場合にソフトウェアの正常に機能するコピーがあるように、ハードディスク上にQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダのコピーを作成します。
- 4 QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダとアプリケーションの名前がインストール時のものから変更されていないことを確認してください。
- 5 QuarkCopyDeskインストーラファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QPS Clientの更新 (Mac OS)

Mac OS上でQPS Connect Clientを更新するには、下記の手順を実行します。更新プロセスには、QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsソフトウェアの置き換えが含まれます。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、アップデートファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にして更新を行ってください。
- 2 "QPS Client Updater.app"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QPS Clientの更新 (Windows)

Windows上でQPS Connect Clientを更新するには、下記の手順を実行します。更新プロセスには、QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsソフトウェアの置き換えが含まれます。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、アップデートファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にして更新を行ってください。
- 2 "Update.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QPS 8.5への移行

QPSの以前のバージョンからQPS 8.5にアップデートまたはアップグレードすると、出版物とセクションはコレクションに変換されます。また、セクションと関連付けられているワークフローは、独立したワークフローに変換されます。このため、作業方法を変えることなくQPS 8.5に移行できます。

アップデートまたはアップグレードを行うと、ワークフローは、そのワークフローが別のセクションで使用されているワークフローと同じものであっても、コレクションに変換されたセクションごとの独立したワークフローになります。このため、複数のコレクションで使用する必要があるワークフローにアップデートすることを後から選択すると、複雑になる可能性があります。したがって、QPS 8.5の新機能を活用するには、稼働中のQPS Serverのデータのコピーをステージングサーバーまたはテスト用のサーバーに移行し、QPS 8.5の新機能を使用してこのサーバーでワークフローの構成を再構築し、その新しい構成にアセットを移行してから、このデータベースやファイルサーバーを本番運用に使用する必要があります。

サーバーを設定するときには、状況とフォームはワークフロー間で移動やコピーができないという点に注意してください。したがって、複数の異なるワークフローで多数の状況を使用する場合は、最初にワークフローを1つだけ作成してテストを行ってから、そのワークフローを複製し、その複製をカスタマイズして別のワークフローを作成することをお勧めします。

- ➡ 8.5以前のバージョンでは、アートのデフォルト単位の情報はサーバーに保存されていました。しかし、バージョン8.5以降では、コレクションごとに関連付けられているジョブジャケットに属するジョブチケットのレイアウトの仕様で、アートのデフォルト単位を指定する必要があります。サーバーをQPS 8.5に移行する際には、アートのデフォルト単位の情報を、コレクションごとに関連付けられているジョブジャケットファイルに属するジョブチケットの、レイアウトの仕様として、手作業で再作成する必要があります。

HSQLの移行

HSQLデータベースを移行するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Serverのアプリケーションフォルダをバックアップします。
- 3 QPS Serverのアップデータを実行します。

QPS 8.5への移行

- 4 QPS Serverを起動します。

MS SQLの移行

MS SQLデータベースを移行するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Serverのアプリケーションフォルダをバックアップします。
- 3 QPS Serverのアップデータを実行します。
- 4 QPSデータベースをバックアップします。
- 5 データベースを更新します。詳細は、「[QPS Databaseの更新](#)」を参照してください。
- 6 QPS Serverを起動します。

Windows版Oracleの移行

Windows上で動作するOracleデータベースを移行するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Serverのアプリケーションフォルダをバックアップします。
- 3 QPS Serverのアップデータを実行します。
- 4 QPSデータベースをバックアップします。
- 5 データベースを更新します。詳細は、「[QPS Databaseの更新](#)」を参照してください。
- 6 QPS Serverを起動します。

Linux版Oracleの移行

Linux上で動作するOracleデータベースを移行するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Serverのアプリケーションフォルダをバックアップします。
- 3 QPS Serverのアップデータを実行します。
- 4 QPSデータベースをバックアップします。
- 5 データベースを更新します。詳細は、「[QPS Databaseの更新](#)」を参照してください。
- 6 QPS Serverを起動します。

QPS Serverの起動

Mac OSとWindowsでは、QPS Serverの起動方法が異なります。Mac OSでは、QPS Serverのインストールが完了すると、**QPS Server Console**が表示され、**QPS Serverを起動**をクリックできます。また、QPS Serverをサービスとしてインストールするか、**マシンが再起動したときに自動的に起動**をオンにすると、QPS Serverコンピュータを再起動したときにQPS Serverが自動的に起動します。

Mac OS

Mac OSでQPS Serverを起動するには、以下の手順に従います。

- 1 アップルメニューで**システム環境設定**を選択します。
システム環境設定ウィンドウが表示されます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの下部にある**その他の下のQPS Server**をクリックします。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 3 QPS Serverを**起動**をクリックします。
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

Windows

WindowsでQPS Serverを起動するには、以下の手順に従います。

- 1 スタート > **すべてのプログラム > QPS Server > QPS Server Console**を選択します。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 2 QPS Serverを**起動**をクリックします。
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

QuarkXPress Serverとサブレンダラーの再起動の自動化

QuarkXPress Serverをインストールしたら、以下のパラメータを指定して、サブレンダラーの監視機能を有効にしてQuarkXPress Serverが起動されるようにします。QuarkXPress Serverのマスタープロセスは、サブレンダラーのプロセスを監視し、必要に応じてサブレンダラーを再起動します。監視の間隔を指定するには"-queryinterval"パラメータを使用し、再試行の回数を指定するには"-noofretries"パラメータを使用します。

Mac OS

- 1 テキスト編集アプリケーションを使用し、"QuarkXPress Server"アプリケーションフォルダのルートレベルから"QuarkXPressServer.config"を開きます。
- 2 以下を入力します。COMMANDLINE=`--subrenders 2 -noui -monitorsubrenders -queryinterval 60 -noofretries 3`
- 3 "QuarkXPressServer.config"を保存します。

Windows

- 1 テキスト編集アプリケーションを使用し、"QuarkXPress Server"アプリケーションフォルダのルートレベルから"QuarkXPressServer.config"を開きます。
 - 2 以下を入力します。COMMANDLINE=`--subrenders 2 -noui -monitorsubrenders -queryinterval 60 -noofretries 3 -recycle`
 - 3 "QuarkXPressServer.config"を保存します。
- ➡ 可能であれば、keepaliveスクリプトを使用してQuarkXPress Serverを起動します。詳細は、『**QuarkXPress Serverガイド**』の「Keepaliveスクリプト」を参照してください。

アンインストール

QPS Serverのアンインストール

Mac OS

QPS Serverをアンインストールするには、まずQPS Serverをシャットダウンし、QPS Server ConsoleおよびQPS Serverの状況メニューを終了します。次に、QPS Serverのアプリケーションフォルダを開いて**QPS Server Uninstaller**をダブルクリックし、画面の指示に従います。

Windows

QPS Serverをアンインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止し、QPS Server Consoleを終了します。
 - 2 **スタート > すべてのプログラム > QPS Server > QPS Serverのアンインストール**を選択します。
 - 3 **はい**をクリックします。アンインストール処理に必要な情報がアンインストーラによって収集されます。
 - 4 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。
- ➡ アンインストーラは自動的に終了し、メッセージは表示されません。
- ➡ QPS Serverソフトウェアの削除は、**コントロールパネル > プログラムの追加と削除**から行うこともできます。

QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール

Mac OS

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ハードドライブの"Applications"フォルダ（またはQPS Connect Clientアプリケーションをインストールしたフォルダ）を開き、"QPS Client"フォルダをごみ箱にドラッグします。
- 2 下記のフォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダから削除します。

- ・ QPPPlugins
 - ・ QPSLog
- 3** Controlキーを押しながらQuarkXPressアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 4** 下記のファイルおよびフォルダを削除します。
- ・ QPPCore.framework
 - ・ QPPPluginInterface.framework
 - ・ QPPServiceProxy.framework
 - ・ QPPUIExtensions.framework
 - ・ QPSXControls.framework
 - ・ UIAccessLayer.framework
- 5** 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkXPressアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。
- ・ QPS XT.xnt
 - ・ QCDImportFilter.xnt
 - ・ Notes.xnt
 - ・ CopyDeskArticleXT.xnt
 - ・ RedlineXT.xnt
- 6** 下記のフォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダから削除します。
- ・ QPPPlugins
 - ・ QPSLog
- 7** Controlキーを押しながらQuarkCopyDeskアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 8** 下記のファイルおよびフォルダを削除します。
- ・ QPPCore.framework
 - ・ QPPPluginInterface.framework
 - ・ QPPServiceProxy.framework
 - ・ QPPUIExtensions.framework
 - ・ QPSXControls.framework
 - ・ UIAccessLayer.framework
- 9** 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。

- ・ QPS XT.xnt
- ・ QPSPlaceholdersXT.xnt

Windows

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Connect Clientを終了します。
 - 2 スタート > すべてのプログラム > QPSクライアント > QPSクライアントのアンインストールを選択します。
 - 3 はいをクリックします。アンインストーラがアンインストールに必要な情報を収集し、QPS Connect Clientアプリケーションフォルダの内容が削除されることを示す警告が表示されます。
 - 4 はいをクリックして続行するか、いいえをクリックしてキャンセルします。
- ➡ QPS Connect Clientインストーラを使用してQuarkCopyDeskおよびQuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェアをインストールしていた場合は、QPS Connect Clientアンインストーラは、これらのXTensionsソフトウェアモジュールも削除します。

このバージョンにおける変更点

QPSのこのバージョンにおける変更点の説明は、『**QPS 8.5の新機能**』を参照してください。

既知および解決済みの問題

このバージョンのソフトウェアに存在する既知の問題および解決済みの問題の一覧については、QuarkのWebサイト (www.quark.comまたはeuro.quark.com) にアクセスしてください。

Quarkへの連絡

このソフトウェアのインストール、設定、または使用方法についてのご質問は、Quarkにお問い合わせください。

南北アメリカ

企業向け製品（QPSおよびQuarkXPress Server）のテクニカルサポートについては、800.788.0045（月～金、午前7：00～午後6:00、米国山岳時間）までお電話でお問い合わせいただくか、またはenterprisesupport@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

デスクトップ製品（QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk）のテクニカルサポートについては、800.676.4575（月～金、午前7：00～午後5:00、アメリカ山岳部時間）までお電話でお問い合わせいただくか、またはtechsupp@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

製品情報については、Quarkウェブサイトwww.quark.comをご覧ください。または、cservice@quark.com宛てに電子メールでお問い合わせください。

南北アメリカ以外の国々

英語のテクニカルサポートの電話での受付時間は、中央ヨーロッパ時間の月～金、8:30～17:30です。電子メールでのお問い合わせの宛先は、enterprisesupport@quark.comです。

オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、およびイギリスでは、電話で00800 1787 8275に問い合わせてください。南北アメリカ以外のその他すべての国では、以下の番号にお問い合わせください。

- ・ ベルギー：0800.77.296
- ・ フランス：0800.91.3457
- ・ ドイツ：0800.180.0101
- ・ アイルランド：1800.55.0241
- ・ イタリア：800.87.4591
- ・ 日本：00531.13.1492
- ・ ルクセンブルグ：8002.3861
- ・ ノルウェー：800.1.4398

- ・ スペイン：900.941.328
- ・ スウェーデン：020.790.091
- ・ スイス：0800.55.7440
- ・ イギリス：0808.101.7082

製品情報については、Quarkウェブサイトeuro.quark.comをご覧ください。または、eurocservice@quark.com宛てに電子メールでお問い合わせください。

オーストラリア

テクニカルサポートについては、1 800.670.973（月～金、午前10：00～午後7：00、シドニー時間（AEST））にお電話でお問い合わせいただくか、またはaustechsupp@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

法律上の注記

© 1986-2010 Quark, Inc. and its licensors. All rights reserved.

米国特許番号5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843および出願中の特許によって保護されています。

Quark、Quarkロゴ、Quark Publishing SystemおよびQPSは、Quark Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。